

# あま市公共施設フォーラム 議事要旨

日 時：平成 30 年 12 月 16 日（日）

13:00～15:00

場 所：あま市美和文化会館  
多目的ホール

## 1. 市長挨拶

村上市長より挨拶

公共施設の見直しは、あま市だけではなく国全体の問題です。高度経済成長期に集中的に公共施設やインフラが整備されましたが、これらの老朽化への対策が社会問題となっています。また、人口減少や少子高齢化によって公共施設等の利用需要が変化しています。



あま市においては、平成 27 年 4 月から公共施設の課題について取り組んでおり、長期的な視点を持って公共施設の統廃合や長寿命化を行うために、平成 29 年 3 月に「あま市公共施設等総合管理計画」を策定しました。この計画に基づき、平成 29 年 4 月から、市内にある公共施設の最適な再配置や総量の適正化に向けた「あま市公共施設等再配置計画」を進めており、平成 31 年 3 月に再配置計画を策定する予定となっています。

再配置計画は、行政と市民代表による委員会で協議をしており、さらに高校生以上を対象としたワークショップでも議論を行っています。また、各公共施設の利用団体に対してヒアリングを重ねて行い、行政と市民が一体となって策定を進めているところであります。

今回のフォーラムが、あま市の公共施設の将来について、市民の皆様と一緒に考える一つのきっかけとなれば幸いです。また、再配置計画の策定にあたり、12 月 19 日から平成 31 年 1 月 17 日まで「あま市公共施設等再配置計画」のパブリックコメントを実施させていただきます。公共施設の再配置について、皆様のお知恵とご理解を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

## 2. 報 告

企画政策課 石田課長より「あま市の公共施設再配置について」の説明。

### 3. パネルディスカッション

#### 「みんなで取り組もう！公共施設の再配置」

##### 1 鶴田 コーディネーター

再配置計画の素案について、どのように考えているか。また、計画の策定に2年間近く関わった中でどのようなことを感じたか。

##### <武舎 パネリスト>

あま市の財政の数字を実際に見てびっくりした。どうにかしなければいけないという気持ちになった。あま市の財源に合った公共施設の管理や、住民サービスの向上を図るために公共施設を縮減することは必要不可欠であり、また、重複した施設を統合・複合化していくことが大切だと感じている。

施設の数が減ることで利用者が不便になるかもしれないが、移動手段を充実させることによって、距離の不便さを軽減させることができると思う。市の財政の節約につながり、その分を子育て支援や福祉に充てることが可能になると考えている。

##### <静谷 パネリスト>

あま市には障がい者が通う事業所が4つあるが、これらの施設を民間に譲渡する案を聞き希望を持つことができた。民間による事業所はレベルが高く、障がい者の個々の特性に合わせた対応してもらうことができ、モチベーションを持って仕事に取り組めるような環境となっている。その後、4つの事業所を一つに統合する案となったが、統合によって職員間の意識を共有することで、現在課題となっている事業所間の温度差が解消することができ、今後は民間に近いサービスの提供が可能になると考えている。統合することに関しては賛成だが、問題点も感じている。

##### <松永 パネリスト>

市の公共施設の延床面積の約62%が、教育委員会の管轄の施設となっている。総合管理計画にある、公共施設の延床面積25%を減らしていく中で、教育委員会だけで縮減目標を達成するのは難しい状況だと感じている。教育委員会としては、秋竹小学校のサロンや、児童クラブ、放課後こども教室のように、学校の空き教室を一般市民に開放するといった施設の複合化を現在



実行している。本当に必要な施設がどこに、どのようにあればよいのかを市民の皆様と共に考えていきたい。

## 2 鶴田 コーディネーター

公共施設はあった方がよいが、今の量を維持していくことは市の財源的に難しいといえる。公共施設を減らす代わりに、交通サービスの充実や民間事業によるサービスの質の向上を図ることで、不便さをカバーできると考えられる。委員会では、公共施設の「縮充」といった、器は減るが新たなサービスを生み出すことを目指しており、夢や希望を持てるような計画にしたいと考えている。

次に、再配置を行う上での問題点について、どのように感じているかお聞きしたい。

### <武舎 パネリスト>

重複した施設、例えば、体育館が減ることによって、市民の活動機会が減少することが考えられる。また、学校を複合施設にした場合、子どもたちの安全面に不安が残る。

### <静谷 パネリスト>

市内の障がい者が通う4つの事業所の定員は60名であるが、統合した施設の定員は30名と聞いている。残りの30名に関しては、民間の施設に移動することとなっているが、実際、あま市内の民間事業所では1、2名程度しか受け入れられないという話を聞いている。人数分の受け入れ先が確保されず計画が進んでいることに問題を感じている。60名の働く場所、生きていく場所について考えて欲しい。

### <松永 パネリスト>

学校は地域における文化の発信地であると捉えている。また、学校施設の複合化を検討するにあたり、子どもたちの安全安心が最優先である。

学級数・児童数は年々減少している。また、建物の維持管理には学校の規模に関わらず大変お金がかかる。その点について教育委員会として考えていかなければならない。

教育委員会では、学校の適正規模化を図り、学区の選択制を検討している。合併から10年たった今、あま市にとって小中学校17校は適正な規模であるのか、学校の在り方について考えていきたい。

### 3 鶴田 コーディネーター

再配置計画における具体的なプランというのはまだ定まっていない。これからやるべきことについてどういったことが挙げられるか。

#### <武舎 パネリスト>

市民の生の声を聞き、本当に必要な施設を見極めることが大切だと思う。そのためには、情報を届けるべき人に確実に届くような情報発信の仕方が重要になる。ホームページに記載するだけでは不十分だと考える。また、告知のタイミングに関しても重要になると考えられる。

#### <静谷 パネリスト>

ホームページでの情報公開は高齢者には届かないと思う。紙媒体の重要性について考えて欲しい。

#### <松永 パネリスト>

どのように周知すれば市民に再配置計画について興味をもってもらえるかを考えることが重要である。また、地域によって再配置に求める条件が異なることから、どのように意見を集約していくのかについて考えていかなければならない。

#### <鶴田 コーディネーター>

再配置計画を作って終わりではなく、行政と市民が協働でまちづくりを行っていくことが重要である。

## 4. 質疑応答

### 1 鶴田 コーディネーター

前半の再配置計画の説明に関する質問が多く寄せられた。施設を評価する項目や基準が分からない、50年という計画スパンは長すぎて危機感が生まれないのではないか、施設を譲渡する場合は有償なのか無償であるのか、といった質問に関して事務局に説明願いたい。

#### <企画政策課 石田課長>

再配置計画のスパンについては、上位計画にあたる総合管理計画の計画期間に合わせて設定している。建物の耐用年数を考慮し、総合的な判断から50年という長期間を設定している。

施設の評価方法に関して、一次、二次評価は客観的に施設を評価するた

めのものであり、建物の経過年数や稼働率等の情報をベースにしている。

施設の譲渡に関して、無償または有償、リノベーションといった方向性というのはまだ決めていない。具体的な方策は、時期が近づいた時に決定する。

## 2 鶴田 コーディネーター

選択学区や学区の統廃合についての質問・意見がきている。

### <松永 パネリスト>

平成 23 年度に学校の適正規模化を検討し、平成 32 または 33 年を目途に、七宝北中の学区のみ指定校制度を導入する予定である。

通学距離の問題から、学区の再編成についても検討を行ったが、今のところそのままとする。学区の統廃合に関しては、教育委員会としては考えていなかったが、50 年スパンで必要があれば実行していくとともに、学校の在り方について考えていくつもりである。

## 3 鶴田 コーディネーター

公共施設の場合は、建物の老朽化だけでなく、圏域を考えてプランニングしていくことが重要である。

また、障がい者が安心して生活でき、日中だけでなくトータルでケアしてもらえるような環境を整備してほしいという意見をいただいている。

### <静谷 パネリスト>

障がい者の行く末を守るために、市内の空きスペース等を活用してグループホームを設置することが良いと考えている。障がい者向けのグループホームを実現させるためには、縦割りの行政ではなく総合的な体制で取り組むべきである。

### <企画政策課 石田課長>

原則、公共施設の新設は行なわないこととしている。施設の空きスペースに関しては、活用していきたいと考えている。市がグループホームを運営できるかどうかは分からないが、検討はしていく。

## 4 鶴田 コーディネーター

委員会として意見がまとまっていないのではという質問に関して、委員会の方向性は合致しているが、方法論はそれぞれ持っているといった状態である。

計画の内容がほぼ決定してから話をされても困る、計画は既に公表されているのかという意見・質問についてお答えいただきたい。

**<企画政策課 石田課長>**

これからパブリックコメントを行い、その後計画を公表する予定である。公表した際はホームページや紙媒体で周知を行っていくとともに、公民館等にも掲示する予定である。

**<武舎 パネリスト>**

市民の皆さんに歩み寄った方法で情報の周知を行って欲しい。紙を必要とする人もいる。

また、委員会はやりたい人がやるべきだと考える。公共施設の再配置に興味があり、何か提案したいことがあればぜひ手を挙げて欲しい。

**<鶴田 コーディネーター>**

追加で何か質問や意見があれば、アンケートの自由記述欄にご記入ください。

**5. 閉 会**